

【現在の人工知能 vs 本研究の将来像】

現在の人工知能	脳型集積システム
<ul style="list-style-type: none"> ● ハイスペックのコンピュータと複雑なプログラム ● 大型・大消費電力 人工知能のための消費電力が、2050年には全発電量の60%となり、世界的なエネルギー問題 	<ul style="list-style-type: none"> ● 超コンパクト・超低消費電力 人間の脳は大きさ1.5リットルで消費電力20W相当 小型化でエッジへの搭載も可能となり通信量も削減

【本研究の目指す姿】

[1]人工知能のための小型化と消費電力の削減

[2]個々のモノ(IoT)への自律型人工知能(AoE)搭載

